

介護福祉士実務者研修科

介護福祉士受験に必須

介護福祉士実務者研修の
修了資格を6か月で取得し
就職を目指します

自己負担額 受講料無料

テキスト代 13,820円(税込)
職場見学先への交通費(2日)実費
※欠席等で法定時間に満たない場合
の補講費用：1時間300円又は
レポート1科目1,000円

取得可能資格

「介護福祉士実務者研修」
修了

<訓練内容>

学科：人間の尊厳と自立、社会の理解、介護の基本、コミュニケーション技術、介護過程、
発達と老化の理解、障害の理解、認知症の理解、こころとからだのしくみ、医療的ケア
実技：生活支援技術、介護過程、こころとからだのしくみ、医療的ケア

<訓練目標>

「介護福祉士実務者研修」修了の資格を取得し、介護福祉分野の基礎的な知識・技術
及び応用力・実践力を身につけることで、高齢者及び障害者福祉分野での介護業務ができる。

(訓練日数) 107日

(訓練時間数) 612時間

訓練期間	平成31年3月20日(水) ～平成31年9月18日(水)
訓練時間	9:30～16:00 (土・日・祝は休み) (平日一部休み有り)
自己負担額	受講料無料(テキスト代13,820円(税込)) 職場見学先への交通費(2日)実費
募集定員	13名 ※訓練対象者の条件：特になし
募集期間	平成31年2月1日(金) ～2月21日(木)
応募方法	ハローワークに求職の申込を行った方が、その後の職業相談の結果、就職するために職業訓練受講の必要があるとハローワークが認めた場合に受講申込書が交付されます。その場合はハローワークの指示に従い、ご応募ください。申込書は 2/21(木) までに郵送または持参にて提出
選考	面接：3月1日(金) 10:00から ※筆記用具をお持ちください ※駐車場はありませんので公共交通機関でお越しください 選考結果通知：平成31年3月6日(水)に発送します
訓練実施施設	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南 1-23-17 笹島ビル7F 「かくれんぼ介護職員養成教室 名駅校」 TEL: (052) 414-4675
応募先選考会場	

応募説明会

2/4(月)・2/13(水)・2/20(水)
いずれも 10:30～11:30

※お電話にて事前にお申し込みください。
電話受け付けは月～金(平日)9～17時
※説明会に参加できない方は随時お問い合わせ下さい。
個別にご説明いたします。



訓練カリキュラム

訓練実施機関名： 特定非営利活動法人かくれんぼ

訓練の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 基礎コース () <input checked="" type="checkbox"/> 実践コース (05 介護福祉分野)	就職を想定する職業・職種	
建設人材育成コース (※基礎コースのみ)	職場復帰支援コース (※基礎コースのみ)	託児サービス支援付訓練コース	
訓練科名	介護福祉士実務者研修科 ※40文字以内で記入してください。	施設介護職員、訪問介護員	
募集期間(予定)	平成31年 2月 1日 ~ 平成31年2月21日		
選考日(予定)	平成31年 3月 1日		
選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 面接 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> その他 ()		
選考結果通知日	平成31年 3月 6日		
訓練期間	平成 31 年 3 月 20 日 ~ 平成 31 年 9 月 18 日 (6 か月)	(訓練日数 107 日)	
訓練時間	9 時 30 分 ~ 16 時 00 分	訓練定員 13 名	
訓練対象者の条件	特になし		
訓練推奨者 (特定の者を想定する場合のみ)	<input type="checkbox"/> 新規学校卒業者 <input type="checkbox"/> ニート等の若者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 母子家庭の母等 <input type="checkbox"/> 被災者 <input type="checkbox"/> 外国人 <input type="checkbox"/> その他 ()		
訓練目標 (仕上がり像)	「介護福祉士実務者研修」修了の資格を取得し、介護福祉分野の基礎的な知識・技術及び応用力・実践力を身につけることで、高齢者及び障害者福祉分野での介護業務ができる。		
訓練修了後に取得 できる資格	名称 (介護福祉士実務者研修修了) 認定機関 (特定非営利活動法人かくれんぼ) 任意受験 名称 () 認定機関 () 任意受験 名称 () 認定機関 () 任意受験 名称 () 認定機関 () 任意受験 名称 () 認定機関 () 任意受験		
訓練概要	施設介護や訪問介護における利用者の状態に応じた身体のお世話や日常生活の自立支援、医療的ケアに関する知識及び技能・技術。		
訓練内容	科目	科目の内容	訓練時間
	就職支援	面接に向けて履歴書・職務経歴書作成指導・面接指導	18時間
	01人間の尊厳と自立	人間の尊厳と自立	6時間
	02社会の理解1	介護保険制度	6時間
	03社会の理解2	生活と福祉、社会保険制度、障害者自立支援制度、介護実践に関する諸制度	36時間
	04介護の基本1	介護福祉士制度、尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開、介護福祉士の理論	12時間
	05介護の基本2	介護を必要とする人の生活の理解と支援、介護実践における連携、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護福祉士の安全(安全衛生)	24時間
	06コミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション技術、介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション	24時間
	07介護過程1	介護過程の基礎的知識、介護過程の展開、介護過程とチームアプローチ	24時間
	08介護過程2	利用者の状態(障害、要介護度、医療依存度、居住の場、家族の状況等)における事例、事例における介護過程の展開、観察ポイント、安全確保・自己防止、家族支援、他機関との連携考察	30時間
	09発達と老化の理解1	老化に伴うところの変化と日常生活への影響、老化に伴うからだの変化と日常生活への影響	12時間
	10発達と老化の理解2	人間の成長・発達、老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多い症状・疾病等と留意点	24時間
	11認知症の理解1	認知症ケアの理念、認知症による生活障害・心理・行動の特徴、認知症の人とのかかわり・支援の基本	12時間
	12認知症の理解2	医学的側面から見た認知症の理解、認知症の人や家族への支援の実際	24時間
	13障害の理解1	障害者福祉の理念、障害による生活障害・心理・行動の特徴、障害児(者)や家族へのかかわり・支援の基本	12時間
	14障害の理解2	医学的側面から見た障害の理解、障害児(者)への支援の実際	24時間
	15こころからだのしくみ1	介護に関係した身体のお世話の基礎的な理解(移動・移乗・食事、入浴、清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔)	24時間
	16こころからだのしくみ2	人間の心理、人体の構造と機能	30時間
	17医療的ケア	医療的ケア実施の基礎、喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)、経管栄養(基礎的知識・実施手順)	60時間
	18生活支援技術1(実技)	生活支援とICF、ボディメカニクスの活用、介護技術の基本(移動、移乗、食事、入浴、清潔保持、排泄着脱、整容、口腔清潔、家事援助等)、環境整備・福祉用具の活用等の視点	30時間
	19生活支援技術2(実技)	利用者の心身に合わせた介護、福祉用具等の活用・環境整備(移動、移乗、食事、入浴、清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護)	36時間
	20介護過程3(演習)	介護過程の展開の実際、介護技術の評価	60時間
21こころからだのしくみ2(実技)	身体のお世話・心理・認知機能等を踏まえた介護におけるアセスメント・観察ポイント・介護連携等の留意点(移動、移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容口腔清潔、睡眠、終末期の介護)	42時間	
22医療的ケア(演習)	演習(喀痰吸引、口腔5回以上、鼻腔5回以上、期間カニューレ内5回以上、経管栄養：胃ろう又は腸ろう5回以上、経鼻経管栄養5回以上、救急蘇生法：1回以上)	30時間	
企業実習	<input checked="" type="checkbox"/> 実施しない <input type="checkbox"/> 実施する ※実施する場合、カリキュラムは別途作成し、総時間のみ記入してください。		
職場見学、職場体験、職業人講話	【職場見学】 社会福祉法人等生会特別養護老人ホームかくれんぼ(高齢者介護における社会的役割を理解する)	6時間	
	【職場見学】 介護老人保健施設 かなやま(高齢者介護における社会的役割を理解するため)	6時間	
訓練時間総合計	学科 402時間 実技 198時間 企業実習 0時間 職場見学等 12時間	612時間	
受講者の負担する費用	教科書代	13,820円	
	その他 ()		
	備考 (職場見学先への交通費別途発生、欠席等で法定時間に満たない場合の補講費用1時間300円又はレポート1科目1,000円)		
合計		13,820円	
指導方法	訓練形態(個別指導・補講を除く)	<input checked="" type="checkbox"/> 全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する	
	施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫	講師が独自に作成したパワーポイント資料も活用し理解度を深める。	
	受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫	実技時には各自が内容を習得するために十分な時間をとっている。さらに、習熟が不十分な者には随時補講等を行う。	

※1 企業実習を予定している場合は、様式第10～12号を作成の上提出してください。
 ※2 様式第6号の「日別計画表」を添付してください。
 ※3 訓練推奨者欄には、特に訓練を推奨する対象がある場合に、当てはまるもの全てのチェック欄(□)に✓を記入してください。
 「その他」の場合は、「訓練対象者の条件」欄に内容を記入してください。特になし場合はチェックは不要です。
 ※4 「職場体験」、「職業人講話」、「職場見学」については、それぞれの時間数が分かるように記入してください。
 ※5 訓練時間には、キャリアコンサルティング等の時間は含まれませんので、除いて記入してください。